

## 令和7年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

## 【めざす学校像】

- 校風・校是「自由と創造」「日新日進」のもと、生徒一人ひとりが自分の色を輝かせ、他者を思いやることにより、全体で虹の架かる学校
- 将来の「大阪」とグローバル化に対応する人材と「大阪の教育」をリードする教員が育つ学校
- 生徒・保護者・地域住民から信頼される学校

## 【生徒に育みたい力】

- 強靱な知性・みずみずしい感性・品格ある人間性
- 確かな学力（自己実現のための学力、知的好奇心、探究心 等）
- 生きる力（客観的事象分析・問題解決能力、意見表明・プレゼンテーション能力 等）
- 豊かな心（生命・人権の尊重、規範意識、異文化理解、多文化共生 等）
- 社会参加力（社会参加、社会貢献 等）

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力と高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進

## (1) 生徒のもつ学力を最大限に引き出すための取組

## ア 確かな学力の充実と授業力の向上

効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、新学習指導要領、高大接続改革に対応するため、1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用を含めた、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。

\*授業アンケート項目8「内容に興味・関心が持てた」9「知識や技能が身についた」の平均点（R4:3.41 R5:3.39 R6:3.44 / 4点満点）を令和9年度まで3.4以上を継続する。

\*生徒向け学校教育自己診断のICT活用に対する満足度（R4:68% R5:73% R6:85%）を令和9年度まで80%以上を継続する。

## イ 講習・補習の充実と進路実現

放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容を充実させ、進路実現に向けた指導を行う。

\*生徒向け学校教育自己診断の「土曜日や長期休業中等の講習や補習は、自分の学力向上や希望進路の実現に役立っている」の肯定率[R6:84%]を令和9年度まで80%以上を継続する。

\*難関国立大学（京都大、大阪大、神戸大）への合格者数（現役生+既卒生/R4:76人 R5:71人 R6:72人）を、令和9年度までに80人以上とする。

\*国公立大学への現役生の合格者数（R4:166人 R5:172人 R6:196人）を令和9年度まで170人以上を継続する。

## ウ 英語運用能力の向上

英語での授業を基本としつつ、海外オンライン交流会や外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める。

\*KITEC（ネイティブスピーカーの方々を多数招聘し、少人数に分かれて一日英語漬けで会話能力の向上をめざす企画）を実施し、「英語に対する興味・関心、運用能力が向上した」と回答した生徒の割合（R4:95%、R5:97% R6:95.7%）を令和9年度まで95%以上を継続する。

\*語学交流事業GULSの生徒満足度[R4:94%、R5:93%、R6:100%]を令和9年度まで90%以上を継続する。

## (2) 生徒の科学的素養の拡大・定着と探究心の向上

## ア 文理学科「課題探究」（文系・理系・文理融合）の内容のさらなる充実

「課題研究」を全校体制かつより主体的に取り組みせ、さらなる充実をはかる。

\*2年生の「課題研究」に対する主体性と意欲をさらに高め、SSHアンケートにおける生徒満足度（興味・関心・意欲）を令和9年度まで80%以上を継続する。（R4:77%、R5:89% R6:88%）

## イ 創造探究事業（大学や企業・研究機関との連携）のさらなる充実

本校独自の事業の他、他の団体等の事業への生徒の参加を促し、幅広い能力の向上を図る。

\*創造探究事業への延べ参加人数（R4:1,945人 R5:1,965人 R6:2004人）について、令和9年度まで1,500人以上を継続する。

## ウ 海外の学校等との交流のさらなる充実

海外の学校等との共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容をさらに充実させる。

\*令和9年度まで、海外との交流を（R4:4日、R5:5日 R6:5日）年4日以上、参加生徒の満足度（R4:89% R5:89% R6:86%）85%以上を継続する。

## (3) 進路指導のさらなる充実

## ア 自己実現に向けた体験型進路学習（職場訪問、大学研究室訪問）の充実

・1年生は、望ましい職業観・勤労観を育成し、進路意識を向上させる。

・2年生は、大学における学問・研究に対する理解促進、進路意識を向上させる。

\*体験型進路学習に対する生徒の満足度（R4:96%、R5:97% R6:97%）を令和9年度まで90%以上を継続する。

## イ 3年間を見据えたキャリア教育の充実

・本校進路指導方針「高津進路プログラム:KSP」に基づき、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する。

\*学校教育自己診断の進路指導への満足度（生徒R4:91%、R5:95% R6:93%・保護者R4:79% R5:85% R6:88%）を、令和9年度までともに85%以上を継続する。

## 2 スクールアイデンティティに基づく、豊かな心の育みと規律・規範の確立

## (1) 人権尊重と社会参加力の育成

HR等において、人権講演会等を開催し、人権を尊重し、社会への参加の意識を醸成する。

\*学校教育自己診断の人権に関する指導に対する肯定率（生徒R4:86%、R5:89%、R6:90% 保護者R4:82%、R5:85%、R6:87%）を令和9年度まで、生徒・保護者とも85%以上を継続する。

\*部活動生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率（R4:91%、R5:100% R6:100%）を令和9年度まで90%以上を継続する。

## (2) 自主的活動と規律・規範意識の向上

部活動・自治会活動など生徒の自主的な活動を支援する。生徒の規律を重んじ規範を守る心を育てる。記念祭（体育祭・文化祭）をさらに活性化する。

\*部活動加入率（R4:85%、R5:85% R6:83%、）を、令和9年度まで85%以上を継続する。

\*生徒向け学校教育自己診断の自治会活動に対する肯定率（R4:70%、R5:70% R6:85%）を令和9年度まで80%以上を継続する。

\*記念祭の満足度（R6:体育祭99.1%文化祭96.6%）を令和9年度まで95%を継続する。

\*年間の遅刻者総数（R4:2663件、R5:2076件 R6:1897件）を令和9年度までに1,500件以下とする。（起立性障がい等の生徒遅刻を除く）

## (3) 安心で安全な学校環境の充実

保健室・相談室などの生徒に対する心身の健康を維持する環境を充実させる。

\*生徒向け学校教育自己診断の保健室利用、教育相談に対する満足度（「わからない」を除く/R4:90% R5:91% R6:90%）を令和9年度まで90%以上を継続する。

\*保護者の学校への相談に対する満足度（「わからない」を除く/R4:86% R5:87% R6:89%）を令和9年度までに90%以上とする。

### 3 教職員の資質向上と学校運営体制の確立

#### (1) 学校の組織的運営、校務の効率化及び情報共有

各分掌・教科等の連携を円滑にするとともに、教職員の学校運営への積極的な参加・参画意識を促進する。

\*教員向け学校教育自己診断の「各分掌や学年・教科等の円滑な連携等」の肯定的意見（R4:62% R5:63% R6:75%）を令和9年度までに80%以上にする。

#### (2) 開かれた学校づくりの推進

本校の教育活動について、学校説明会や学校HP等を通じて、中学生やその保護者に積極的にアピールする。また、中学校や大学など他校種との連携を行う。

\*教員向け学校教育自己診断の「教育活動を中学生や保護者に積極的にアピールできている」の肯定率（R4:87% R5:94% R6:98%）を令和9年度まで95%以上を継続する。

#### (3) 教員の資質向上とミドルリーダーの育成

・教員間の授業交流の促進、研究授業・協議を一層活性化させ、さらなる授業力向上に努める。

・ミドルリーダー育成に向け、時機をとらえた研修等、学習機会の機会を設ける。

\*生徒向け授業アンケートの全項目平均値（R4:3.42、R5:3.40、R6:3.43）を令和9年度まで3.4以上を継続する。

\*教員向け学校教育自己診断の「(校内研修など)学習機会の提供」に関する肯定率（R4:75% R5:82% R6:75%）を令和9年度までに80%以上にする。

\*教員向け学校教育自己診断の「ミドルリーダー育成」に関する肯定率（R4:80% R5:78% R6:77%）を令和9年度までに80%以上にする。

#### (4) 「働き方改革」の流れを踏まえた、(校内)安全衛生委員会機能のさらなる向上

教育庁の方針に基づき、学校部活動方針及び全校一斉定時退庁日を遵守し、「働き方改革」を推進する。

\*教員向け学校教育自己診断の「悩みや疑問について、互いに気軽に相談できる職場である」の肯定率（R4:81% R5:73% R6:84%）を令和9年度までに85%以上にする。

### 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和7年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b></p> <p>■生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業は知的好奇心を抱きやすいなど、内容が濃い」88%（R6 88%）</li> <li>・「授業はわかりやすく楽しい」88%（R6 89%）</li> <li>・「授業には、プロジェクター等の視覚機器やコンピューター等の電子機器が積極的に取り入れられている」96%（R6 85%）</li> <li>・「学習に対する評価は適切で納得できる」90%（R6 89%）</li> </ul> <p>■保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学習に対する評価は適切で納得できる」90%（R6 91%）</li> </ul> <p>■教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業では主体的・対話的で深い学びの確立等、さらなる向上をめざしている」92%（R6 95%）</li> </ul> <p>○LGH 指定校として、ICT を積極的に活用するとともに、生徒のニーズに応じた適切な教科指導を実践している。今後も、難関大学進学に対応できる学力向上をめざし、授業改善に努める。</p> <p><b>【進路指導等】</b></p> <p>■生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」94%（R6 92%）</li> <li>・「カリキュラムは生徒の進路希望・適性に応じたものになっている」86%（R6 85%）</li> <li>・「土曜日や長期休業中の講習は学力向上や進路実現に役立っている」85%（R6 84%）</li> <li>・「教職員は生徒の進路実現に積極的に取り組んでいる」95%（R6 93%）</li> </ul> <p>■保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の生き方や進路を考える機会が数多く提供されている」92%（R6 92%）</li> <li>・「土曜日や長期休業中の講習は学力向上や進路実現に役立っている」87%（R6 86%）</li> </ul> <p>■教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来の生き方や進路を考える機会を数多く提供している」97%（R6 94%）</li> <li>・「カリキュラムは生徒の進路希望・適性に応じたものになっている」94%（R6 95%）</li> </ul> <p>○生徒の希望進路実現に向けて、正確でタイムリーな情報提供と、さらなる戦略的、効果的な進路指導、学習支援に努める。</p> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <p>■生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒指導の方針に共感できる」87%（R6 87%）</li> <li>・「人権を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている」92%（R6 90%）</li> <li>・「教職員は人権を尊重しており、体罰やセクハラはない」93%（R6 92%）</li> </ul> <p>■保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒指導方針に共感できる」91%（R6 91%）</li> <li>・「人権を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている」88%（R6 87%）</li> </ul> <p>■教職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員は人権を尊重しており、体罰やセクハラはない」95%（R6 95%）</li> <li>・「生徒や保護者が必要に応じて、気軽に相談できる環境が整っている」97%（R6 98%）</li> </ul> <p>※「わからない」を除く</p> <p>○校則がないことを強みとし、自分から主体的に考え、行動するとともに、他者への思いやりの心が育つよう、高津らしい生徒指導を進めていく。</p> <p><b>【学校運営等】</b></p> <p>■生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「SSH、GLHS として設定されている活動は充実している」92%（R6 89%）</li> </ul>	<p><b>【第1回学校運営協議会】令和7年6月23日（月）</b></p> <p>■報告・説明</p> <p>○令和6年度の振り返りについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学実績について、令和7年3月卒業生（77期生）の難関国公立大学（京都・大阪・神戸）の合格者数が現役62名、既卒が10名で計72名となり、現役生の合格も過去最高となった。国公立大学への現役合格者数も195名で昨年より23名増加した（進学者183名）。</li> <li>・教員の指導力の向上、及び、講習・補習の充実、1年生学習合宿等の取組により、自習室の利用数も増加しており、地道な取り組みが功を奏している。</li> </ul> <p>○令和7年度の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GLHS10校の取組として、今年度入学生から「TOFUL Junior」を導入した。1年次4月、2年次12月～1月の2回受験する。英語活用能力の確認と向上を目的としている。</li> <li>・今年度より「大阪府姉妹校交流支援事業」が開始。本校は、交流校として、台湾第一高級中学、台湾女子高級中学、フィリピンアンジェリカム高校と提携している。</li> <li>・SSH 第IV期3年め。ヒアリング実施予定。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和10年度以降入試について情報共有。</li> </ul> <p>■質問・意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校特色枠について、学力検査を活用することについて合意。</li> <li>・1年生の職場訪問について詳細を共有。訪問先企業の新規開拓について希望があれば協力可能との助言あり。</li> <li>・令和9年度以降のSSH制度改革について情報共有し、令和10年度先導期申請予定を確認。</li> <li>・姉妹校交流事業について質問あり。交流校（台湾第一高級中学・台湾女子高級中学・フィリピンアンジェリカム高校）、実施内容、支援内容について確認。</li> <li>・本校独自のグローバルリーダー育成研修（シンガポール）、GLHS 合同海外研修（サンフランシスコ）の実施内容について確認。</li> <li>・私学無償化の影響について質問あり。今年度入学生の状況について確認。また、志願状況の変化について共有。</li> <li>・KOZU Science Labo 研究交流会の様子について確認。</li> <li>・教員の働き方改革について情報共有。</li> <li>・高津高校は公立高校のリーダーとして頑張ってもらいたい、とのご助言あり。</li> </ul> <p><b>【第2回学校運営協議会】令和7年11月21日（金）</b></p> <p>■報告・説明</p> <p>○「令和7年度学校経営計画」の進捗状況等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力と高い志を育み、進路実現をめざす取組の推進、講習・補習の充実について</li> <li>⇒1年学習合宿の生徒の満足度は97.7%と高い数値であり、学習習慣の定着、人間関係の構築に効果を示している。</li> <li>・英語運用能力の向上について</li> <li>・シンガポール海外研修をはじめ、アジア高校生サイエンスフォーラムなど、海外の学校等との交流を推進している。</li> </ul>

## 府立高津高等学校

- ・「クラブ活動は活発で、活動時間や活動内容は適切である」81% (R6 80%)
- ・「教職員は様々な悩みや疑問等に気軽に相談にのってくれる」88% (R6 86%)
- ・「教職員は教育活動に熱心に取り組んでいる」96% (R6 94%)
- ・「教職員はいろいろな問題を見逃さずに対応してくれる」94% (R6 89%)

※「わからない」を除く

- ・「自分は学校行事や自治会・HR 活動に積極的に参加・参画している」78% (R6 80%)

#### ■保護者

- ・「SSH、GLHS として設定されている活動は充実している」93% (R6 91%)
  - ・「教職員はいろいろな問題を見逃さずに対応してくれる」93% (R6 93%)
- ※「わからない」を除く

#### ■教職員

- ・「教育活動は、学校経営計画等に基づき、適切に行われている」95% (R6 98%)
- ・「GLHS、SSH の取組みに教職員が意識を共有して取り組み充実」78% (R6 82%)
- ・「変化や状況に応じ行事の見直し等に迅速かつ柔軟に取り組んでいる」78% (R6 73%)
- ・「部活動は活発で、活動時間や活動内容は適切である」78% (R6 77%)
- ・「保護者と緊密に連携し、信頼感が醸成されている」98% (R6 100%)
- ・「各分掌や学年・教科が連携し組織的に機能の向上に取り組んでいる」79% (R6 75%)
- ・「経験の少ない教員や次世代リーダーを蹴格的に育成できている」70% (R6 77%)
- ・「本校の教育活動を積極的にアピールできている」92% (R6 98%)
- ・「学校運営に積極的に参加・参画している」86% (R6 82%)

○教職員の SSH、GLHS の取組みへの情報共有をより進めながら、各分掌や学年・教科等の円滑な連携等を進める。また、さらに中学生・保護者へ積極的に PR していく。

#### 【その他】

##### ■生徒

- ・「高津高校に入学してよかった」92% (R6 92%)
- ・「教室・廊下・トイレ等の環境は、清潔に保たれている」69% (R6 66%)

##### ■保護者

- ・「高津高校に入学させてよかった」94% (R6 93%)
- ・「教室・廊下・トイレ等の環境は、清潔に保たれている」73% (R6 72%)

##### ■教職員

- ・「教職員の教育活動に関する学習機会が適切に提供されている」87% (R6 75%)
- ・「いじめが起こった際の体制が整っており、迅速に対応できる」90% (R6 91%)
- ・「教室・廊下・トイレ等の環境は、清潔に保たれている」60% (R6 52%)

○今年度も、生徒・保護者ともに「高津高校に入学して(させて)よかった」という回答が高水準で安定している。一方で、トイレ等の施設設備、環境面は改善の必要はあるが、予算面から困難な状況である。

- ・自主的活動と規律・規範意識の向上について、10月末現在1039件と昨年より100人ほど減少している。
- ・SSH 第Ⅳ期の取組に関する中間ヒアリングについて、滞りなく終了した。

#### ■質問・意見等

- ・授業見学の感想として、比較的若い先生が多い(30歳代までが半数近くを占める)。
- ・学年の特徴について、遅刻数減少、部活動早期入部など、1年が活発なようだが、例年と違う取組を行っているか。  
⇒学校説明会などの広報活動は例年と同じ。昨年度より100名程度志願者減となったが、基礎学力診断結果によると学力層は昨年と同様。
- ・遅刻対応について、担任職員室を経由することとした。全体的に就寝時間が比較的早く、生活リズムが整っていると言える。
- ・1年に活気があるのは良いこと。高津を希望して入学している生徒が多いからか。  
⇒学校説明会も丁寧に行っているため、本校の教育方針や教育内容を十分理解して入学している生徒が多いと考えられる。
- ・文楽の本公演を鑑賞している学校もある。高津高校は情操・文化教育は行っているのか。  
⇒以前は、高校3年間で、古典芸能・音楽・演劇をローテーションで鑑賞していたが、コロナ禍以降、3年生芸術鑑賞(ミュージカル)のみとしている。今後検討したい。
- ・高津高校クリエイティブラボセミナーはとても充実した内容だと思う。  
⇒同窓会のご支援により、毎回充実した内容となっており、感謝している。
- ・「オールドメディア」についての回もあったが、新聞の活用は大事である。
- ・進学実績について、京大・阪大・神大と国公立大学の合格者数が挙げられているが、私学に進学する生徒も多いのではないかと。  
⇒現在は90%以上が国公立大学を第1志望としているので、指標としている。ただ、最近は地元志向が強く、地方の国公立に後期で合格しても、近隣の私学に進学する生徒が増えている。また、大阪公立大学の合格者が日本一となった。これもその傾向の一つ。
- ・一般入試だけでなく、プレゼンテーションなどを利用する学校推薦型入試を利用する生徒もいるのではないかと。  
⇒実際は一般入試対策との両立は難しいので、一般入試で受験する生徒が多い。

#### 【第3回学校運営協議会】令和8年2月24日(火)

##### ■報告・説明

- ・大学入試状況について  
⇒新共通テスト2年めということで問題が難化したため、昨年度と比較すると平均点は下がったが、よく頑張っている。
- ・「令和7年度学校経営計画」の達成状況について  
⇒例年通りの取組を継続しており、充実度も向上している。
- ・SSH の取組について  
本校の取組について、普及・波及に取り組んでいる。交流校や小中学生の参加者数も増加している。
- ・「学校教育自己診断結果」について  
各項目について、生徒・保護者の満足度は高いレベルで継続。
- ・「令和8年度学校経営計画(案)」について承認。

##### ■質問・意見等

- ・高津高校の志願者が増加しているのは嬉しい。これも教職員の取組が評価されたものだと思う。特に高津高校は、多様な学びや取組と言う点で評価されている。
- ・私学無償化の影響もあり、受験低年齢化が進むと思われるが、今後どう対応していくのか。  
⇒小中学生対象の実験講座や研究発表交流会を行っており、将来的に高津高校をめざしてくれることを期待している。
- ・ミドルリーダー育成について「見える化」を図ってほしい。
- ・遅刻や不登校生徒への対応として、SC や SSW の活用、オンライン授業対応等、生徒支援が大切になってくる。ぜひ対応をお願いしたい。  
⇒不登校生徒等に対する支援については、関係委員会を適宜開催し、支援に努めている。多様な学習ニーズに対応したガイドラインも他校に先駆けて作成し取り組んでいる。
- ・生徒だけでなく、教員も転勤による環境の変化等によりストレスを感じる方もおられるので対応をお願いする。

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R6年度値]	自己評価
1 確かな学力と高い志を育み、進路実現をめざす取組みの推進	(1)生徒のもつ学力を最大限に引き出すための取組 ア 確かな学力の充実と授業力の向上	(1) ア・効果的な補助教材の作成、教員の指導技術の一層の向上に努めるとともに、新学習指導要領、高大接続改革に対応するため、1人1台端末や学習支援クラウドサービスの活用を含めた、「主体的・対話的で深い学び」を推進する。	(1) ア・教職員向け学校教育自己診断の「さらなる指導技術の向上」に関する項目の肯定率[95%]を90%以上で維持する。 ・授業力アンケート項目8「内容に興味・関心が持てた」9「知識や技能が身についた」の平均点[R6:3.44/4点満点]を3.4以上とする。 ・生徒向け学校教育自己診断のICT活用に対する満足度[R6:85%]を、80%以上とする。	(1) ア・教職員向け学校教育自己診断の「さらなる指導技術の向上」に関する項目の肯定率92% (○) ・授業力アンケート項目8「内容に興味・関心が持てた」9「知識や技能が身についた」の平均点3.47 (○) ・生徒向け学校教育自己診断のICT活用に対する満足度96% (◎)
	イ 講習・補習の充実と進路実現	イ・放課後、土曜日、長期休業中等の講習内容を充実させ、進路実現に向けた指導を行う。	イ・生徒向け学校教育自己診断の「土曜日や長期休業中等の講習や補習は、自分の学力向上や希望進路の実現に役立っている」の肯定率[R6:84%]を令和9年度まで80%以上を継続する。 ・難関国立大学(京都大、大阪大、神戸大)への合格者数(現役生+既卒生)[R6:72人]を75人以上とする。 ・国公立大学への現役生の合格者数[R6:195人]を170人以上とする。	イ・生徒向け学校教育自己診断の「土曜日や長期休業中等の講習や補習は、自分の学力向上や希望進路の実現に役立っている」の肯定率85% (○) ・難関国立大学(京都大、大阪大、神戸大)への合格者数(現役生43+既卒生8)51人(△) ・国公立大学への現役生の合格者数133人(△)
	ウ 英語運用能力(4技能)の向上	ウ・英語での授業を基本としつつ、海外オンライン交流会や外部試験等を活用し、英語コミュニケーション能力の目標を明確に示すことで、生徒の英語運用能力を総合的に高める。	ウ・KITECを通して、英語運用能力が向上したと回答した生徒の割合[R6:95.7%]を95%以上とする。 ・語学交流事業 GULS の生徒満足度[R6:100%]を90%以上とする。	ウ・KITEC 生徒満足度 基礎講座94.6% 発展講座97.8%(○) ・GULS の生徒満足度100%。(◎)
	(2)生徒の科学的素養の拡大・定着の探究心の向上 ア. 文理学科「課題探究講座」(文系・理系・文理融合)のさらなる充実	(2) ア 「課題研究」を全校体制で主体的に取り組みせ、さらなる充実をはかる。	(2) ア・2年生の「課題研究」に対する主体性と意欲をさらに高め、SSHアンケートにおける生徒満足度(興味・関心・意欲)[R6:88%]を80%以上とする。	(2) ア. SSH アンケートにおける2年生生徒満足度(興味・関心・意欲)84% (○)
	イ・創造探究事業のさらなる充実	イ・本校独自の事業の他、他の団体等の事業への生徒の参加を促し、幅広い能力の向上を図る	イ・創造探究事業への延べ参加人数[R6:2,004人]を1,500人以上とする。	イ. 創造探究事業への延べ参加人数1,922名 (○)
	ウ. 海外の学校等との交流のさらなる充実	ウ・海外の学校等との共同研究や共同発表会等を実施するなど、交流内容をさらに充実させる。	ウ・海外の学校等との交流[R6:5日]を年4日以上行い、参加生徒の満足度[R6:86%]を85%以上とする。	ウ・SDGsをテーマに韓国・台湾・フィリピンの高校生とオンライン交流会を3日、高校生アジア環境フォーラムを2日間開催した。(○) ・生徒の満足度95% (◎)
	(3)進路指導のさらなる充実 ア・自己実現に向けた体験型進路学習(職場訪問、大学研究室訪問)の充実	(3) ア 1年生は、望ましい職業観・勤労観を育成し、進路意識を向上させる。2年生は、大学における学問・研究に対する理解を促進し、進路意識を向上させる。	(3) ア・体験型進路学習(職場訪問・研究室訪問の平均)に対する生徒の満足度[R6:97%]を90%以上とする。	(3) ア. 1年職場訪問 63か所(7月実施)生徒満足度99.8% 2年研究室訪問 50研究室(11月実施)生徒満足度92.6% 1・2年平均96.2% (○)
	イ. 3年間を見据えたキャリア教育の充実	イ 本校進路指導方針「高津進路プログラム:KSP」に基づき、学年の進路指導ホームルームや進路説明会をより系統的に計画・実施する。	イ 学校教育自己診断の進路指導への満足度[生徒93%・保護者88%]を85%以上とする。	イ. 学校教育自己診断「生徒の進路実現に積極的に取り組んでいる」の肯定率 生徒95%・保護者89% (○)

## 府立高津高等学校

<p>2 スクールアイデンティティに基づく、豊かな心の育みと規律・規範の確立</p>	<p>(1) 人権尊重と社会参加力の育成</p> <p>(2) 自主的活動と規律・規範意識の向上</p> <p>(3) 安心して安全な学校環境の充実</p>	<p>(1) HR等において、人権講演会等を開催し、人権を尊重し、社会への参加の意識を醸成する。</p> <p>(2) 部活動・自治会活動など生徒の自主的な活動を支援する。生徒の規律を重んじ規範を守る心を育てる。記念祭(体育祭・文化祭)をさらに活性化する。</p> <p>(3) 保健室・相談室などの生徒に対する心身の健康を維持する環境を充実させる。</p>	<p>(1)・学校教育自己診断の人権に関する指導に対する肯定率[R6:生徒90%・保護者87%]とともに85%以上とする。 ・部活動生徒による「高津キャラバン隊」の実施クラブ率(R6:100%)を100%とする。</p> <p>(2) 部活動加入率[83%]を85%以上に、自治活動に関する肯定率[70%]を80%以上に、記念祭の満足度[体育祭98%・文化祭96%]を95%以上とする。遅刻者数[R6:1,897件(2月末現在)]を1,800件以下とする。(起立性障がい等の生徒遅刻を除く)</p> <p>(3) 学校教育自己診断の「心身の健康について気軽に相談できる環境(保健室や教育相談)」に対する満足度を生徒[R6:93%]、保護者[R6:89%]とともに90%以上とする(「わからない」を除く)。</p>	<p>(1)・学校教育自己診断の「生徒に対して人権を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている」の肯定率 生徒92% 保護者88% (○) ・高津キャラバン隊の参加率は100% (○)</p> <p>(2) 部活動加入率79%(12月末現在) (△) 自治活動に関する肯定率88% (◎) 記念祭の満足度 (○) ・体育祭95%・文化祭97% ・遅刻者数(生活指導上)1,765件(2月末現在) (○)</p> <p>(3)・学校教育自己診断の「心身の健康について気軽に相談できる環境(保健室や教育相談)が整っている」の肯定率 生徒96% 保護者90% (○)</p>
<p>3 教職員の資質の向上と学校運営体制の確立</p>	<p>(1) 学校の組織的運営、校務の効率化及び情報共有</p> <p>(2) 開かれた学校づくりの推進</p> <p>(3) 教員の資質向上とミドルリーダーの育成</p> <p>(4) 「働き方改革」の推進</p>	<p>(1) 各分掌・教科等の連携を円滑にするとともに、教職員の学校運営への積極的な参加・参画意識を促進する。</p> <p>(2) 本校の教育活動について、学校説明会や学校HP等を通じて、中学生やその保護者に積極的にアピールする。また、中学校や大学など他校種との連携を行う。</p> <p>(3)・教員間の授業交流の促進、研究授業・協議を一層活性化させ、さらなる授業力向上に努める。 ・ミドルリーダー育成に向け、時機をとらえた研修等、学習機会の機会を設ける。</p> <p>(4) 教育庁の方針に基づき、学校部活動方針及び全校一斉定時退庁日を遵守し、「働き方改革」を推進する。</p>	<p>(1) 教職員向け学校教育自己診断の「各分掌や学年・教科等の円滑な連携等」の肯定的意見[R6:75%]を75%以上、「学校運営に積極的に参加・参画している」の肯定率[R6:82%]を80%以上とする。</p> <p>(2) 教職員向け学校教育自己診断の「教育活動を中学生や保護者に積極的にアピールできている」の肯定率[R6:98%]を95%以上とする。</p> <p>(3)・生徒向け授業アンケートの全項目平均値[R6:3.42]を3.4以上とする。 ・教職員向け学校教育自己診断の「学習機会の提供」に関する肯定率[R6:75%]を80%以上、「ミドルリーダー育成」に関する肯定率[R6:77%]を80%以上とする。</p> <p>(4) 教職員向け学校教育自己診断の「悩みや疑問について、互いに気軽に相談できる職場である」の肯定率[R6:84%]を85%以上とする。教職員一人あたりの超過勤務時間数で前年度より5%削減をめざす。[R6:約38時間33分(2月末現在)]</p>	<p>(1) 「各分掌や学年・教科等の円滑な連携等」に対する肯定率79% (◎) 「学校運営に参画している」に対する肯定率88% (◎)</p> <p>(2) 教職員向け学校教育自己診断の「教育活動を中学生や保護者に積極的にアピールできている」に対する肯定率92% (○)</p> <p>(3) 第1回、第2回生徒授業アンケート1～9全質問の平均値3.45 (○) 教職員向け学校教育自己診断の「学習機会の提供」に対する肯定率87% (◎) 「ミドルリーダー育成」に関する肯定率70% (△)</p> <p>(4) 「教育活動に関する悩みや疑問について、互いに気軽に相談できる職場である」の肯定率89% (◎) 教職員一人あたりの超過勤務時間約35時間42分(2月末現在) [前年度比7.6%減] (◎)</p>